

開放型病床をもつ開かれた病院として、地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、心かよう安心の医療を目指します。

オープン・コム

No.17
2007.3

Open Com



院長
清野 佳紀

病院を、快適空間のある働きやすい環境へ

当院は本年1月15日、日本経済新聞社主催の「につけい子育て支援大賞」を受賞しました。につけい子育て支援大賞は、日本経済新聞社が2006年から始めたもので子育て支援の進んでいる民間企業4社にこの賞が授与されました。大阪厚生年金病院以外の企業は、松下電器産業、日産自動車、P & Gといった大企業ばかりです。考えてみれば、病院の女性職員の比率は通常70%ほどにも達しています。子育て支援事業は女性職員の比率の多い小学校や病院からこそ始めるべきものであります。すでに学校のほうは進んでいて代用教員の制度もきっちりしています。そのほか当院は2005年に大阪府「男女いきいき元気宣言」

に登録され、2006年にNPO法人「女性医師のキャリア形成・維持・向上を目指す会」による働きやすい病院第一号に認定されています。

私は当院に4年前に赴任しましたが、その当時から大阪厚生年金病院を、働きやすい病院にすることを目指しました。患者様に優しく接しなさいとか医療の質を高めようとか病院関係者は病院の機能をあげることに必死です。しかしながら、まずその職員が余裕をもって働きやすいように環境を整えなければ医療の質を向上させることなどは到底無理だと思います。

そういう方針に基づいてこの4年間、職員の労働環境の改善に取り組んでいます。当院は1952年に開院していますが、患者様や職員の数は開院当時の2倍に増え、とても手狭になっています。建物の老朽化も進み、本来は建て替えをしたいところですが、社会保険庁の破綻によって現在建て替えはおぼつきません。しかし、1日の外来患者は約1,500人、職員は約800名以上もいますから、患者様、職員ともに快適な環境整備を図る必要があります。

そこで、この間、毎年、リニューアル工事を行い、院内の床、壁を張り替える他、サイン表示などもわかりやすく一新いたしました。また小児科外来にプレイコーナーを設置したり、地下にはコンビニを開店させ、その隣には患者様用の無料休憩室もオープンしました。コンビニは24時間年中無休ですから入院患者様をはじめ職員にもたいへん好評を得ています。さらに、患者情報室(ラヴェンダー)を開設し、患者様が病気や薬などの知識を入手できるように、医学書や医学のパンフレットなど医療に関する資料や闘病記などの書物も備えています。病室から離れられない患者さまのためには、ボランティアの方たちがワゴン車で図書巡回サービスも行っています。また、子育て支援の一環として病児保育室も開設していますが、今年4月からは院内保育所も開設する予定にしています。これからも患者様と職員のための癒しの空間を広げていき安心して入院でき安心して働ける職場環境づくりを続けていきたいと思っています。

大阪厚生年金病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します
2. 患者様の立場に立って、心温まるケアに専念します
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します
4. 人を癒し、人を活かす職場であることを誇りとします

看護部の理念

1. 看護師は、人間の生命と、人間としての尊厳および権利を尊重いたします。
2. 看護師は、人々の健康の増進、疾病予防、健康回復、苦痛を軽減することにおいて責任をもって看護活動を行います。
3. 看護師は、地域社会と連携を持ち、住民のニーズにあった看護を提供いたします。
4. 看護師は、常に看護水準を確認し、看護サービスの質的向上を図り、可能な限り高度な看護を提供いたします。

Contents

- 02 につけい子育て支援大賞を受賞しました
- 03 当院の実力：外科編（消化器一般外科・呼吸器外科）
- 06 初期臨床研修を終えるにあたって
- 08 脳卒中ケアユニットの紹介
- 09 トピックス
- 10 登録医さんこんにちは
- 12 患者情報室ラヴェンダーニュース（増刊）
- 13 患者相談室より
- 14 当院の活動内容を掲載している記事
- 18 各種教室
- 19 公開講座
- 20 大阪厚生年金病院のご案内



大阪厚生年金病院

<http://www.okn.gr.jp/>

日本医療機能評価機構認定病院
大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者
「働きやすい病院」認定病院(第1号)
につけい子育て支援大賞受賞

につけい子育て支援大賞を受賞しました

につけい 子育て支援大賞

日本経済新聞創刊百三十周年を記念して創設した「につけい子育て支援大賞」の第一回受賞者が決まった。およそ百六十件の応募があり、審査委員会が「未来の活力」を育（はぐく）む八つの企業、自治体、民間団体を選んだ。審査の概要と受賞者の横顔を紹介する。（1面参照）

- ▼松下電器産業
 - 。最短3時間、半日・隔日などの勤務体系
- ▼日産自動車
 - 。妊娠期の休職制度や在宅勤務を広範に導入
- ▼P&G（プロクター・アンド・ギャンブル）
 - 。柔軟な勤務体系を早期に導入。女性登用に積極的
- ▼大阪厚生年金病院
 - 。女性医師の出産退職に歯止めをかける制度
- ▼石川県
 - 。多子世帯に特典を与える事業を初めて導入
- ▼福井県
 - 。父親の子育て支援策の重点実施
- ▼NPO法人
 - 新座子育てネットワーク
 - 。父親の子育て、女性の再就職支援プログラム開発
- ▼マザーネット
 - 。病児保育サービスを株式会社形態で提供

【日本経済新聞 2006年12月14日（木）】

※掲載許諾済み。無断転載・複製禁止。



授賞式の模様（看護部長 森口直子）（授賞式 2007年1月15日）



副賞のトロフィー（彫刻家 松田光司氏作）

ご覧いただけましたか？



「テレビ大阪“ガイヤの夜明け”で、当院が放映されました」
200年1月9日（火）、午後10時台（テレビ大阪「日経スペシャル ガイヤの夜明け」）の“特集「医者がない!? ～“医療難民”を助け～：女性パワーを活用せよ」で、当院の女性医師支援の取り組みが紹介されました。

診療対象疾患

上部消化管	食道癌、食道アカラシア、胃食道逆流症、胃癌、十二指腸癌、胃十二指腸潰瘍
下部消化管	結腸・直腸癌、痔核、痔瘻、直腸脱、炎症性腸疾患
肝・胆・膵	胆石症、総胆管結石症、胆嚢ポリープ、肝癌、転移性肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌、脾臓疾患
一般外科	ヘルニア、腸閉塞、体表面腫瘍
呼吸器外科	肺癌、転移性肺腫瘍、自然気胸、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、筋無力症

特色

- 消化器一般外科と呼吸器外科の各グループが専門診療を行っています。
- EBM (evidence based medicine) に沿った治療を心がけ、各疾患のガイドラインに準じて治療をすすめています。
- クリティカルパス (現在 176 種類) を利用した標準的治療を行っています。将来的には地域連携パスを行う予定です。
- 消化器一般外科グループは、主に、上部消化管外科、肝胆膵外科と下部消化管外科からなり、副院長をはじめ、それぞれの担当部長 (外科学会専門医指導医) が責任を持って患者様の診断治療にあたっています。
- 呼吸器外科グループは、呼吸器外科学会の専門医 (指導医) が診療にあたっています。肺癌の術前病期診断を、縦隔鏡や胸腔鏡を用いて正確に決定し、それをもとに、縮小手術、標準手術あるいは集学的治療などを選択しています。
- 低侵襲で美容上利点のある内視鏡手術を積極的に実施しています (胆石症、総胆管結石症、早期食道・胃・大腸癌、胃十二指腸良性疾患、脾腫、虫垂炎、自然気胸など)。
- 進行癌に対しては、抗癌剤治療や放射線照射さらに手術を組み合わせた集学的治療を行っています (食道癌や肺癌など)。
- 外来治療センターを利用していただくことにより、抗癌剤治療などを通院で行うことも可能です。
- 年中無休 24 時間対応で、年間 100 例を超える緊急手術を行っています。
- 患者様に病状や検査治療内容を十分に説明し、同意のもとに診療を行わせていただきます。
- セカンドオピニオンのご希望にも対応させていただきます。
- 当院は日本外科学会、消化器外科学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、大腸肛門病学会、胸部外科学会、呼吸器外科学会、呼吸器学会などの認定 (修練・指導・指定) 施設で、教育および研究活動も積極的に行っています。

診療実績 (2006年1月1日～12月31日)

外来診療	新規患者数	689	名	
入院診療	新規入院患者数	949	名	
	手術総件数 (内視鏡手術)	726	(132) 件	
	消化器一般外科手術	食道癌	15	(1) 件
		食道良性腫瘍	1	(1) 件
		食道アカラシア	1	(1) 件
		胃・十二指腸癌	76	(5) 件
		胃・十二指腸潰瘍	7	(3) 件
		結腸・直腸癌	83	(4) 件
		肝悪性腫瘍	28	件
		胆石・総胆管結石	107	(72) 件
		胆嚢ポリープ	14	(14) 件
		胆管系癌	2	件
		膵癌	9	件
		慢性膵炎・膵良性腫瘍	5	件
		イレウス (腸閉塞)	31	(1) 件
		ヘルニア	97	件
	痔核・痔瘻	33	件	
	虫垂炎	40	(5) 件	
	その他	97	件	
	合計	646	(107) 件	
呼吸器外科手術	肺癌	30	件	
	自然気胸	18	(9) 件	
	縦隔腫瘍	4	件	
	肺良性腫瘍	2	件	
	転移性肺癌	2	件	
	縦隔鏡生検	9	(9) 件	
	胸腔鏡生検	7	(7) 件	
	開胸生検	2	件	
その他	6	件		
合計	80	(25) 件		

スタッフ紹介



山崎 芳郎 副院長

- 専門** 消化器外科全般
内視鏡外科
- 経歴** 1973年 大阪大学医学部卒業
- 資格** 大阪大学医学部臨床教授
兵庫医科大学臨床教授
外科学会専門医・指導医・評議員
消化器外科学会専門医・指導医
大腸肛門病学会専門医・指導医・評議員
消化器内視鏡学会専門医・指導医
内視鏡外科学会技術認定取得・評議員
胃癌学会評議員
食道学会評議員



弓場 健義 部長 (消化器外科担当)

- 専門** 上部消化管外科 (食道・胃・十二指腸)
内視鏡外科
- 経歴** 1981年 大阪大学医学部卒業
- 資格** 大阪市立大学医学部臨床教授
外科学会専門医・指導医
消化器外科学会専門医・指導医
消化器病学会専門医・指導医
臨床外科学会評議員
内視鏡外科学会技術認定取得・評議員
胃癌学会評議員



栗田 圭司 医療顧問

- 専門** 消化器外科全般
- 経歴** 1962年 大阪大学医学部卒業
- 資格** 外科学会指導医
臨床外科学会評議員



初山 卓哉 部長 (肝胆膵疾患担当)

- 専門** 肝・胆・膵外科、内視鏡外科
- 経歴** 1985年 大阪大学医学部卒業
- 資格** 外科学会専門医・指導医
消化器外科学会専門医・指導医
消化器病学会専門医
内視鏡外科学会技術認定取得



大野喜代志 部長

- 専門** 呼吸器外科
- 経歴** 1974年 大阪大学医学部卒業
- 資格** 大阪市立大学医学部臨床教授
外科学会専門医・指導医
胸部外科学会指導医
呼吸器外科学会専門医・指導医・評議員



伊藤 章 部長 (大腸肛門疾患担当)

- 専門** 下部消化管外科 (結腸・直腸・肛門)
内視鏡外科
- 経歴** 1985年 産業医科大学医学部卒業
- 資格** 外科学会専門医・指導医
消化器外科学会認定医
乳癌学会認定医



稲田 啓次 医長

専門 呼吸器外科
経歴 1983年 大阪大学医学部卒業
資格 外科学会専門医
胸部外科学会認定医



赤丸 祐介 医長

専門 消化器外科全般、内視鏡外科
経歴 1993年 大阪大学医学部卒業
資格 外科学会専門医
消化器外科学会認定医



中村 幸生 医師

経歴 2002年 大阪大学医学部卒業



杉本 曜子 医師

経歴 2004年 大阪大学医学部卒業



別府 直人 医師

経歴 2004年 兵庫医科大学卒業



渡邊 祐介 医師

経歴 2004年 川崎医科大学卒業



**患者様、一般の方への
メッセージ・お願い**

- 患者様の目線に合わせた、親身でわかりやすい説明を伴った診療を行うように努力いたします。
- はじめて当科を受診される患者様は、患者様の病状や服用しているお薬を記載した、かかりつけ医の先生からの紹介状を持参されることをお勧めいたします。診療後には、患者様の治療内容や検査結果を担当医より、かかりつけ医の先生にお知らせいたします。



**かかりつけ医の先生への
メッセージ・お願い**

- 外科的救急疾患をもつ患者様への24時間診療を、昨年10月より再開させていただいております。それまでの半年間、諸先生方のご要望に十分応えられず、大変ご迷惑をおかけいたしました。これからも、従来通り、ご紹介をよろしくお願いいたします。なお、逆紹介を含め、病診連携は緊密に保持させていただきます。



**外科専門医を目指す
臨床研修医の皆さまへ**

- 当外科は活気にあふれ、全員一丸となってよりよい医療の実施をめざしています。
- 親切丁寧で経験豊富な指導医にもめぐまれています。
- 外科専門医をめざす後期研修医の皆さまには、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科および心臓血管外科を順次ローテートしていただくことにより、専門医の取得に必要な症例をすべて経験できるようなカリキュラムが組まれています。
- 後期研修終了時の外科専門医取得をめざして、臨床に励んでいただきたいと思います。

初期臨床研修を終えるにあたって

初期研修 2 年目 12 名全員をご紹介します



川西洋平 医師
(大阪医科大学出身)

各科 1～3 ヶ月と短期間の研修でしたが、2 年間の研修を終えることができました。各科専門医に学ぶことで、各科の患者と疾患へのアプローチの仕方を学ぶ貴重な機会を得られました。たとえ、異なる科に進んだとしても、これからの自分の診療に幅を持たせてくれると思います。この初期研修の経験を生かし、今後、自らが選択する専門分野で、臨床能力の向上を目指したいと思います。



貫野知代 医師
(兵庫医科大学出身)

臨床研修医として働き始め、不安でいっぱいでしたが、諸先生方やコメディカル^{*1}のかたに助けをいただき、なんとか 2 年間の研修を終えられそうです。この研修を糧にこれからもがんばっていきたいと思います。2 年間本当にありがとうございました。



木村千暁 医師
(大阪大学出身)

卒後臨床で良かった点は、今までの制度では自分の志す科のみの知識しか入ってこないのに対して、様々な科を回ることによって、一つの病態を診ても様々な原因を考える力がつき、また、その対処法も考えられるようになったことです。特に厚生年金病院は各科間の垣根が低く、他科の先生にも気軽に教えていただけました。



熊西博子 医師
(大阪医科大学出身)

2 年間の初期臨床研修では指導医の先生方に恵まれ、様々な経験と勉強ができて感謝の気持ちでいっぱいです。研修制度には様々な見解がありますが、専門に進む前に色々な経験を積むことは、とても有意義であると思います。本当にありがとうございました。



高橋佑典 医師
(大阪大学出身)

初期臨床研修の 2 年間は、良き指導医、先輩方、良き同僚に恵まれ、とても有意義に過ごすことができました。まだまだ半人前ですが、今後もさらに良い医療が提供できる医師になれるよう、精進していきたいと思います。



瀧内 剛 医師
(大阪大学出身)

研修病院を評価するには、ソフトとハード両面を考慮する必要があります。ハード面については、症例数等から事前に予想できますが、ソフト面を研修前から想像することはできません。この 2 年間、臨床研修担当部長である山崎副院長をはじめとして、多くのスタッフの方々に温かく指導していただきました。賛否両論のある新制度ですが、その点では当院で研修することができて、満足しています。今までありがとうございました。これからは、少しでも皆様のお役にたてるよう精進いたします。

※ 1 コメディカル (CO-MEDICAL)

CO-MEDICAL スタッフのことで、医師以外の医療従事者のこと。看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士などを指す。

※ 2 Common disease

日常臨床の場でよく診る一般的な病気



成田基良 医師
(兵庫医科大学出身)

この研修期間は医師の仕事に慣れる為の2年間だったと思う。良き先生・同僚や環境に恵まれ、少しだが自信が出てきたかなと思う。これから色々な試練にぶち当たると思うが、患者さんの助けになれるように日々精進して頑張っていきたい。



水野麻衣 医師
(兵庫医科大学出身)

私は1年目を大学病院で、2年目を厚生年金病院で研修させていただくコースを選択しました。大学病院では診る事のできない症例を経験する事ができ、1年間という短い期間でしたが大変勉強になりました。先生方やコメディカル^{※1}の方々に本当にお世話になりました。ありがとうございました。



水本綾 医師
(兵庫医科大学出身)

私は2年間大阪厚生年金病院で研修いたしました。当初より内科志望でしたが、どの科でも指導医の先生方には、大変熱心に教えていただきました。Common disease^{※2}についても同様に、非常に勉強になりました。



三村理恵 医師
(大阪市立大学出身)

私は大学の院外実習を、当院産婦人科で8週間学びました。当時の部長の高木先生をはじめ産婦人科の先生方に御指導いただき、産婦人科への興味が深まりました。そして是非とも2年目の必修/選択の産婦人科を当院で受けたいと思い、志望しました。4月から当院産婦人科で後期研修を受けます。今後共よろしくお祈いします。



森本晶子 医師
(大阪大学出身)

2年間の研修は、終わってみるとあっという間でした。この病院でのたくさんの人との出会いや経験は、どれも大変貴重なもので、ここで研修できて本当によかったと思います。来年以降もお世話になりますが、よろしくお祈いします。ありがとうございました。



行岡千佳子 医師
(岩手医科大学出身)

2年間の研修では、プライマリケアを中心に学びたいという希望があったのですが、実際に救急当直では各科の先生から熱心な指導を受けることができるという恵まれた環境の中、貴重な経験をすることができました。本当にスタッフの方々に感謝しています。ありがとうございました。

脳卒中 ケアユニット の紹介



脳卒中センターのメンバー



脳卒中カンファレンス



脳卒中ケアユニット病室

近年、脳卒中に対してはチームで急性期に集中的な治療を施すことによって、予後が改善するということが明らかになっています。脳卒中は初期診療が大切で、その如何で予後が大きく左右されます。一刻も早い適切な施設での的確な治療と、早期からのリハビリテーションが必要です。

脳卒中センターは2001年7月に開設され、2004年2月より脳卒中専門の医師が院内に常駐するシステムを構築し、365日24時間いつでも脳卒中患者の受け入れが可能となりました。2006年10月には脳卒中ケアユニット（SCU）6床を増設し、脳卒中に対する集約的な治療体制がさらに充実したものとなりました。当脳卒中センターは脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科、看護部、療養福祉相談室から構成され、これら多職種がチームを組んで一貫した脳卒中治療を展開しています。

急性期治療が終了し、さらにリハビリが必要な場合には患者様に満足していただけるよう、地域の回復期リハビリ病院と連携をとっています。その後は脳卒中再発予防のための生活習慣病の予防・治療が大切になってきます。かかりつけ医の先生方との連携を強化し、これに対処していきます。マンパワーとシステムの構築で、今後ますますその必要性が高まってくると考えられる脳卒中治療に対応してまいります。

〈脳卒中センター：藤田敏晃 脳神経外科(脳卒中担当)部長〉

脳卒中ケアユニット Q&A

脳卒中ケアユニットとは？

脳卒中の急性期を他職種間で協力して治療をするというチーム医療のシステムを指します。ケアユニットという看板の上でいる新設された部屋（入れ物）を指すものではありません。従って意味としては従来からあった脳卒中センターとほぼ同じです。

脳卒中ケアユニットは、どのような治療をする施設か？ 一般病室と何が違うのか？

ワンフロアで6床のベッドを持つユニットで、病棟から独立した単位となっています。心拍呼吸監視やテレビモニターなどを使用し、急性期の患者様の変化していく病態に対応可能となっています。従来よりも広いスペースを確保し、さまざまな処置もその場で可能です。

対象は？

脳卒中（脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血）の急性期の患者様が対象です。

脳卒中ケアユニットを利用できるのはどのようなケースのときか？

発症14日以内で、担当医（脳神経外科・神経内科）が必要であると判断したときに利用できます。限られたベッド数での治療になりますので、必要度に応じて一般病棟へ移っていただきます。

かかりつけ医の先生方、患者様からの希望で利用できるのか？

あくまでも当院担当医の診断・判断によって脳卒中ケアユニットの利用が決まりますので、ご希望による利用はできません。

NICU（新生児センター）同窓会開催報告

2006年10月29日の秋晴れの日曜日、40家族120名以上のご参加を頂き、当院NICUを退院されたお子様とご家族の同窓会を開催しました。NICUに赤ちゃんが入院した同じ立場のご家族が交流し、楽しい一時を過ごしていただければと毎年開催し、今回で3回目となりました。

今年は、わたなべ助産院の渡辺和香さんによるタッチケアの実技講習、新風堂書店さん（奈良市）のご協力でご覧の絵本の出張販売（紙芝居実演のおまけ付）、保育士と一緒に親子遊び、個別相談などの内容で、着ぐるみのスタッフも登場し、楽しい半日を過ごすことができました。

（小児科部長（NICU担当）高田慶応）



タッチケアの実技講習



参加者全員による記念撮影

地域医療連絡会が開催されました

2007年1月27日（土）大阪国際会議場（特別会議場）において、大阪厚生年金病院の地域医療連絡会が開催されました。

はじめに、仙波 治 耳鼻咽喉科部長から「当院の15年間の頭頸部悪性腫瘍患者の報告－抗腫瘍治療中心について－」、藤本佳之 歯科・歯科口腔外科部長の「顎関節症の治療について」の話題提供があり、その後、職員紹介、質疑応答、懇親会へと進みました。

懇親会場では、日頃、直接お目にかかることの少ない先生方との意見交換が和やかに行われました。

本年からは患者様の紹介等で関係の深い病院の先生にも来ていただきました。

地域医療連絡室と療養福祉相談室の担当者も地域の先生方にご挨拶をさせていただきましたが、時間の制約もあり、全ての

先生方にご挨拶できませんでした事をこの場をお借りしてお詫び申し上げます。地域医療連絡室と療養福祉相談室はこれからも、かかりつけ医の先生方と患者様に対して、より開かれた利用しやすい病院づくりの役割を担当させていただく所存です。

今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。（地域医療連絡室 小川公明）



登録医さん こんにちは

大阪厚生年金病院の開放型病院登録医[※]のご紹介

※開放型病院登録医とは…当院の医療施設・設備を利用し入院治療等が必要になった患者様に当院医師と協力して治療を行う地域の診療所や医院の「かかりつけ医」の先生です。

日野医院

院長 小畑 優子

〒554-0001 大阪市此花区高見 2-13-3

TEL 06-6463-1468

FAX 06-6461-5208

Eメール hinoiin-kobata@nifty.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
17:00~20:00	○	○	○	-	○	-



● 阪神西大阪線「伝法」駅下車、徒歩5分

アクセス

診療科目

内科/脳神経外科(火曜午後診)

往診

有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有(6台)



小畑先生(前列)とスタッフの皆さん

2005年7月から母の跡を継いで日野医院の院長を務めております。父母共に厚生年金病院に勤めたのちに開業した経緯もあり、当時から大変お世話になって参りました。エコー検査を取り入れながら循環器、消化器、内科一般の診療を行っております。また、火曜の午後診は、脳神経外科・脳卒中専門医が担当し、頭痛や物忘れ外来も開いています。

1月にはご年配の患者様にもご利用しやすいように医院を全面的にリニューアルいたしました。これからもより一層、厚生年金病院との病診連携を図りながら、地域医療に邁進していく所存です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

島崎医院

院長 島崎 弘郎

〒553-0006 大阪市福島区吉野 3-15-18

TEL 06-6464-2031

FAX 06-6463-7092

Eメール bfbbr700@cwo.zaq.ne.jp

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○



● JR環状線「野田」駅下車、地下鉄千日前線「玉川」駅下車、徒歩4分

アクセス

診療科目

小児科

往診

無

休診日 日曜・祝日

駐車場 無



島崎先生(左)とスタッフの皆さん

1964年に福島区で小児科を開業してから、もう40年をこえました。開業当時の医療の状況と比べると、その後の医療をめぐる環境の変化や、治療技術の進歩は隔世の感に堪えません。その間、私のような個人開業医でも大過なく過ごせたことは大変幸せなことでありました。

これもひとえに地域の病院、なかでも厚生年金病院との連携が大きな支えになったことは言うまでもないことで、二次医療機関を中心とした地域医療環境のありがたさを身にしみ感じております。

今後とも初心を忘れることなく、残された日々を地域医療に専念するつもりです。

当院に登録をご希望される
かかりつけ医の先生方へ

開放型病院登録医申請手続きについては、地域医療連絡室までご連絡ください。

TEL.06-6441-5463 (直通)

はやしだ診療所

院長 林田 嘉彦

〒554-0022 大阪市此花区春日出中 2-17-8

TEL 06-6463-3299
FAX 06-6463-3299

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
16:30~19:00	○	○	-	○	○	-



- アクセス**
- JR環状線「西九条」駅下車、バス10分「春日出」下車、徒歩1分
 - 阪神西大阪線「千鳥橋」駅下車、バス5分「春日出」下車、徒歩1分

診療科目
外科/胃腸科/リハビリテーション科

往診
有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有



林田先生（前列中央）とスタッフの皆さん



199年4月に開院し、平成18年1月より北港通りから一筋裏に入った今の地に移転して診療を行っています。地域のかかりつけ医としてあらゆる疾患に対応できるように最善をつくり、常に、患者さんの立場に立った診療（いわゆる、自分がその患者になったとき、どういう治療を受けたいか）に努めています。しかし、患者さんの立場に立っていると想定していても、実際には十分に実行されていないのではないかと最近痛感しています。

ただ、専門医への紹介が必要と判断した時は、連携病院に即紹介し、患者さんの的確な治療に全力を注いでいます。特に大阪厚生年金病院には各科にわたりお世話になり、適切且つ高度な治療を受けて非常に感謝しています。また、患者さんからも高い評価を受けています。今後も、プライマリケアの医師として、出来る限り地域医療に貢献していきたいと思っています。これからもよろしくお願いたします。

前川医院

院長 前川 保雄

〒553-0003 大阪市福島区福島 8-16-10

TEL 06-6452-0778
FAX 06-6452-0778

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
16:30~19:30	○	○	-	○	○	-



- アクセス**
- JR環状線「福島」駅下車、徒歩3分

診療科目
内科/外科/小児科

往診
有

休診日 日曜・祝日

駐車場 無



前川先生（前列）とスタッフの皆さん



1996年に福島8丁目で開業して、早くも10年になります。これまで大阪厚生年金病院には、検査・専門外来・救急・外科手術とあらゆる面でのお世話になり、迅速に対処していただき感謝しております。

これからも病診連携を図り、地域のかかりつけ医として努力していきたいと思ひます。

通常号は随時1階 図書返却BOX上に置いてあります

患者情報室とは

患者様が医療の情報を得たり、自己学習の場として、また、病院内でゆったりとした気分になっていただける空間として無料でご利用できる施設です。

OPEN 平日
9:00～14:00

場所 別館1階
(スポーツ医学センター横)

患者情報室では、医療書と一般書を無料で利用することができます。本日は、患者様が利用されている様子をご紹介します。

質問



医療書の利用 例) 40代男性患者様の場合

ペグインターフェロンの副作用についてのっている本はどこですか？
(副作用がどのように変化していくのか知りたいので…)

また、薬代を減額できる方法があると聞いたのですが、載っている本はありますか？

ご紹介資料

副作用については、ラヴェンダーに所蔵している下記の資料で情報を得る事ができます。

- 「NHK きょうの健康 肝炎・肝硬変・肝がん」(日本放送出版協会)
- 「知っておきたい肝臓病の知識 Q & A」(ライフサイエンス出版)
- 「最新の治療で肝臓病を治そう」(銀海舎)
- C型肝炎ウェブサイト <http://www.c-kan.net/>

薬代の減額方法については、当院内科部長片山和宏医師、山口敦子看護師、長谷川千依乃薬剤師が執筆した

- 「やさしいウィルス性慢性肝炎の自己管理 — インターフェロン療法を中心に —」(医薬ジャーナル社)

に情報が載っています。(2007年1月 受入図書)

この本には患者様の言葉で表現した副作用とその対策やスタッフのアドバイスも載っています。

1Fの療養福祉相談室で減額方法の具体的な相談をお受けしています。ご利用ください。

また、ラヴェンダーでは同じ病気の患者様同士が情報を交換する会「患者会」もご紹介しています。

「患者会」は、患者様にしかわからない悩みや情報を発信されています。

- 日本肝臓病患者団体協議会「大阪肝臓友の会」(連絡先: 0725-44-3964 西村様)

新薬に関する情報や、療養上の悩み解決方法などの情報をお持ちです。

また「患者会」ではありませんが、定期的に行われている以下の会では患者様への情報提供とともに、集まった方たち同士で意見や情報を交換し合える場を持っておられます。(これまでの記録新聞はラヴェンダーにそろっています。)

- 大阪厚生年金病院消化器病(慢性肝炎)懇話会「ひまわり」(連絡先: 当院内科外来)

患者情報室の利用法

アドバイス

ペイシャント・アクティブ(patient active)、病気との付き合いも人とのつきあいも同じです。前向きに、でも無理をせず、接していける患者になりましょう。病気の方が遠慮してくれるかもしれません。きっとそうなります。そのひとつの方法として患者情報室を利用してください。(内科部長 片山和宏)

一般書

人気ランキング (2006年12月～2007年1月)

- 1位 こんな女房に誰がした? きみまる人生劇場 綾小路きみまる (PHP文庫)
- 2位 陰日和に咲く 劇団ひとり (幻冬舎)
- 3位 それでもやっぱり がんばらない 鎌田 實 (集英社)
- 4位 あひるのアレックス 三浦貞子 (フレーベル館)
- 5位 琵琶湖私景 マツシマススム写真集 (東方出版)



患者相談室 Open Win/d より オープン・ウィンド

2006年8月から12月まで投書箱「みなさまの声」等に寄せられた件数は17件で、患者相談室に寄せられた相談等は71件です。その中の苦情及びご意見の一部をご紹介します。

Q 初診の問診表を記載したカルテを開けたまま他の患者対応をしている。また、中待合室に入ると診察室の音が聞こえてくる。これは個人情報の観点から問題ではないか。

A カルテを開けたままの対応は、個人情報の関係上問題がありますので看護職員には注意しました。また、診察室は病院の構造上声が漏れるという問題があることは承知しておりますが、今以上の設備（完全個室）はスペース的に無理な状況です。

Q 病室内での携帯の使用をもっと規制してほしい。

A 現在、当院内では病室、外来診察室、各検査室内は使用禁止、また、集中治療室、血液浄化センターは原則として持ち込み禁止としています。

Q 会計がとても遅く30分以上待たされた。何とかして下さい。

A 午前10時過ぎから昼頃は会計の窓口が混雑してご迷惑をおかけする時もあります。その場の状況を見て他の職員を応援に出して、出来るだけお待たせすることのないよう努力いたします。



《重要なお知らせ》4月1日より 病院敷地内 全面禁煙

当院は、2007年4月1日より病院敷地内全面禁煙といたします。

※玄関公園側駐輪場の喫煙所は、灰皿を撤去します。

※西門側の喫煙所は、閉鎖いたします。

患者様への
お願い

当院での 整形外科初診・再診の取り扱いについて

当院では、**整形外科の初診は他医療機関からの紹介患者様についての診療**とさせていただきます。

ご受診の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者様からの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

(地域医療連絡室)

TEL (06) 6441-5451 (代)
AM 9:00 ~ PM 5:00
(土日祝日を除く)

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますのでご了承くださいませようをお願いいたします。

再診につきましても、同じくすべて予約制とさせていただきます。

診察室が予約の患者様で常時ふさがっているため、紹介状なしや予約なしに受診された場合、診察室や診察医師の手配ができませんのでご了解下さい。

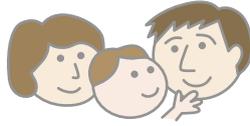


各種教室

両親学級

問 申 大阪厚生年金病院産婦人科外来 ☎06-6441-5451 (内線 2279)

- 開催日/毎月第1、2、3水曜日
- 時間/13:30～15:30
- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/1,000円(3回分)



腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院血液浄化センター ☎06-6441-5451 (内線 2667)

- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

開催日	時間	テーマ	対象	担当
5月24日(木)	13:30～14:30	腎臓が悪いのかな? 検尿異常を指摘されたら…	検尿異常を指摘され、 腎臓病が気になる方	横山部長
6月28日(木)	13:30～14:30	腎機能が低下しているといわれたら… 慢性腎不全との付き合い方	慢性腎不全の患者様 (Cr2mg/dl以上)	横山部長
7月26日(木)	13:30～14:30	腎臓病と福祉制度(社会保障制度)	保存期、透析患者様	MSW

糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院内科外来 ☎06-6441-5451 (内線 2274)

- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

※7月5日のみ事前申込必要。5月より当院1階予約センターにて受付いたします(電話でのご予約はできません)。

開催日	時間	場所	費用	テーマ	担当
4月5日(木)	14:00～16:00	当院2階第1会議室	無料	血糖をコントロールする…………… 血糖を下げる薬…………… インスリン注射は怖くない…………… 低血糖対処法……………	医師 薬剤師 薬剤師 看護師
6月7日(木)	14:00～16:00	当院2階第1会議室	無料	糖尿病の合併症(目・腎・神経)……… 合併症の検査…………… 足に注意……………	医師 臨床検査技師 看護師
7月5日(木)	11:20開始	当院2階第1会議室	有料 1,000円(予定) (完全予約制)	昼食会 食事療法ワンポイント…………… アルコールとお菓子……………	医師 管理栄養士

〈院外会場〉

開催日	時間	場所	費用	テーマ	担当
5月10日(木)	14:00～16:00	福島区民センター*	無料	健康講座 “生活習慣病退治 ～食と運動が元気の秘訣～”	医師、看護師、 管理栄養士、 歯科衛生士

※ 福島区民センター は、下記アクセス図をご参照ください。

禁煙教室

問 大阪厚生年金病院内科外来
☎06-6441-5451 (内線 2274)

- 開催日/毎月第1、3金曜日
- 時間/16:00～17:00
- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、
直接お越しください。



問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています



公開講座

どなたでも参加できます

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院内科外来
☎ 06-6441-5451 (内線 2274)

- 開催日/7月(開催日未定)※確定次第、院内に掲示します。
- 場所/当院2階 第1会議室
- テーマ/ウイルス性慢性肝炎と抗ウイルス治療
- インターフェロンを中心に -
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

第11回 股関節教室

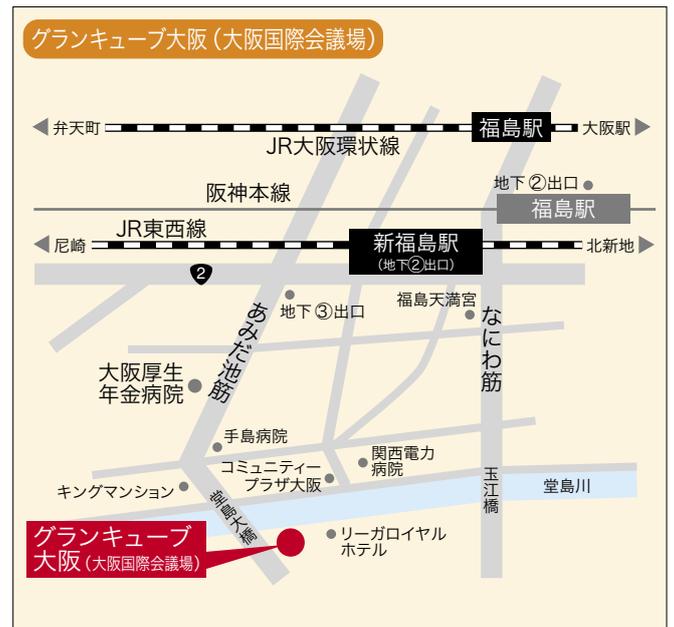
問 大阪厚生年金病院予約センター
☎ 06-6441-5451 (内線 2153)

- 開催日/6月24日(日)
- 時間/13:00~16:00
- 場所/グランキューブ大阪 10F 大ホール*
※ グランキューブ大阪(大阪国際会議場)は、右記アクセス図をご参照ください。
- テーマ/新しい人工股関節手術(2)
- 講演者/増原建作(当院整形外科人工関節担当部長)
- 費用/無料
- 方法/当院1階予約センター窓口で事前にお申し込みください。
*申し込み受付は4月2日(月)からです。
受付時間:平日8:30~17:15

歯科公開講座

問 大阪厚生年金病院歯科口腔外科外来
☎ 06-6441-5451 (内線 2286)

- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。
※開催内容については確定次第、院内に掲示いたします。



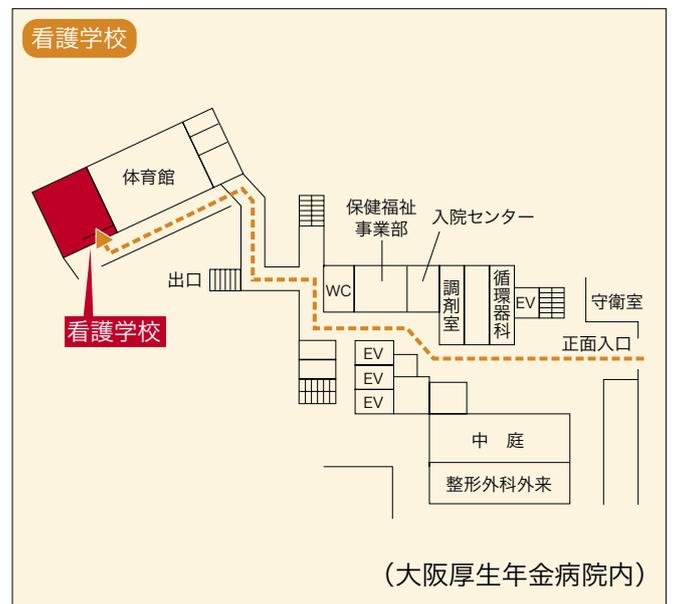
院内の公開症例検討会

対象: 医療従事者

乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日	2階 第2会議室	17:30~19:00
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日	2階 第1会議室	19:00~21:00
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	4階 カンファレンス室	17:00~18:30
婦人科腫瘍症例検討会	第4木曜日	2階 第2会議室	17:00~19:00
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日	看護学校 視聴覚室*	18:00~19:00

院内で行われる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。恐縮ですが、開催日の1週間以内に地域医療連絡室(TEL 06-6441-5463)にご確認ください。

※ **看護学校** は、右記アクセス図をご参照ください。



外来診療 受付時間
 8:30~11:30 (土・日・祝日を除く)
 初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をもらってください。整形外科は紹介状なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間
 12:00~21:00 平日(月~金)
 10:00~21:00 土・日・祝日

かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先
 患者様からのFAXお申し込みはできません。患者様はかかりつけ医の先生を通してご予約ください。
地域医療連絡室 (診療予約) (受付時間 8:30~19:30)
 FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)
予約センター (検査予約) (受付時間 8:30~17:00)
 FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- プライマリケア教育研修センター(救急部)
- 内科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ外来
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/> でご覧になれます
 ※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします

リウマチ外来 (問) 整形外科外来
 TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者様の状態に応じて幅広く対応しています。
 (診療日) 要紹介・予約制: 初診(月曜日)、再診(月・火・木・金曜日)

集中治療室(ICU)
 大手術後、院内重症患者様を集中的に治療する部門です。救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者様等を受け入れ、治療しています。

救急部 (問) TEL (06) 6441-5451 (代)
 脳・心血管手術を含め、広く救急患者様を受け付け、24時間手術可能です。小児、産婦人科の急患も受け付けます。

内視鏡センター (問) TEL (06) 6441-5451 (内線2191)
 消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。
 (申) かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。
 (予) FAX (06) 6441-0512 (かかりつけ医の先生専用)

地域医療
 病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5463 FAX (06) 6441-0512
 患者様の治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)
 患者様、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。
 退院後の療養施設の紹介や、介護支援も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

スポーツ医学センター (問) (06) 6441-5451 (内線3101)
 月~土の9:00~17:00 (木曜日は20:00迄)
 E-mail: spo-cen@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。
 (申) 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとりください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック (問) ドック相談室
 TEL (06) 6441-5451
 生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。
 (申) 入院センター TEL (06) 6441-5451

(問) は問い合わせ (申) は申し込み (予) は予約先を表しています

新生児センター(NICU) (問) 小児科当直医
 TEL (06) 6441-5451 (代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院も受け入れ、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム (かかりつけ医の先生専用)

地域診療所・助産所のシステム登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 (問) 医事課
 TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。
 (診療日) 毎週水曜日(受付時間 8:30~11:30)
 (診療科) 内科、皮膚科、産婦人科、小児科、眼科
 (受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

(申) 当外来をご希望の女性患者様は、医事課受付でその旨をお申し付けください。

女性がん検診 (問) 産婦人科外来
 TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です
 (検診日) 毎週金曜日 午後2:00~午後3:40

(申) 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日8:30~17:00)

乳がん検診 (問) 乳腺・内分泌外科外来
 TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。
 (検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、
 毎週木曜日の午後4:00

(申) 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日8:30~17:00)

交通のご案内

- JR東西線 「新福島駅」下車(出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線 「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車 「福島駅」下車、徒歩約10分
- 市バス 大阪駅前 79 →「福島西通」下車 大阪駅前 55 →「堂島大橋北詰」下車 大阪駅前 53 →「堂島大橋」下車
- タクシー 「大阪駅」より約10分

日本医療機能評価機構認定病院/大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者 / 「働きやすい病院」認定病院(第1号) / につけい子育て支援大賞受賞

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78
 TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900
<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp
 この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで